

# 會學濟經學大國帝都京

# 叢論濟經

號 四 第 卷 一 十 第

## 論 說

農業社會主義論(一)……………法學博士 河田 嗣郎

累進課税の弱點に就きて……………法學博士 神戶 正雄

支那古來の限田說……………文學士 小島 祐馬

價值論上のリカアドとマルクス(一)……………經濟學士 堀 經夫

人格主義の立場に於ける經濟と人生の考察(一・完)……………法學士 石川 興二

## 時事問題

排日問題に就きて……………法學博士 神戶 正雄

我海運政策に對する國民の反省……………法學博士 戸田 海市

## 雜 錄

三種の「資本論」邦譯……………法學博士 河 上 肇

世界戰爭と人口の變動……………法學士 汐見 三郎

朝鮮干瀉地利用論……………經濟學士 三田村 一郎

新著紹介……………法學士 汐見 三郎

## 時事問題

### 排日問題に就きて

神 戸 正 雄

#### (一)

日本が目下世界の各方面、就中、其最關係の密接なる周圍の地域に於て排斥を受けて居るのは事實である。即ち米國にては一體に日本に對する感知が悪しく、日本を以て第二の獨逸といふ風に見て居る。其に人種的反感や經濟上の利害の衝突もが伴つて加州土地問題を引起して居る。支那に於ても日本人及特に日本商品に對するの排斥が時々行はれ、特に山東問題に關しては何時までも反日の態度を續けて居る。西比利亞にても排日の聲が高く、尼港に於ける虐殺事件までも引起した。而して我領土内ではあるが、朝鮮にても矢張り反日の氣分が在つて、各種の陰謀が其跡を斷たない。此等の事實は單純に政治的にのみ見るべきではなくて、一の經濟問題として見なければならぬ。今日我邦の經濟界が沈滞の裡にあるが、此は勿論一時の好景氣の反動であつて、臆

がて段々と回復することを疑はぬが、其につけても右の如き排日は矢張り此回復に對する一の妨害である。此點より考へても大に力を用ゐて之を取除かなければならぬが、更らに日本の永遠の大計からいふても此を何う切抜けるか、將た又到底切抜け得ぬかといふことが、一の先決問題となる。此點から見ても此排日を除く爲めに大に力を用ゐることは肝要である。

## (二)

當面の財界の不況に對する脅威といふことは別に大した事ではない。が永遠の大計から見ての脅威といふ方は洵に重大なる問題である。實は前の大戦中並に戦後一時の間は成金が横暴を極めた爲めに、一部の人々の間には現代經濟組織に對する反感が生じた。而して更らに最近には反動的恐慌が起りて、失業者を生せんとしつゝあるに於て、又々其反感が高まつて居る。斯くして彼等が資本主義的經濟組織を呪ひつゝある處に、外部に於ける排日を聞き、そして其が日本の軍國主義と資本主義とに對する反對の聲であると解せらるゝに於て、愈々以て現在の社會組織を改造したしとの念を生ずる。其處で斯の如き考を持つ者共が騒いだ所で所詮物にはなるまじと思ふが、併し兎も角若干の動搖は生ずる。經濟界の平和は紊さるゝ。我邦の經濟の發達は妨げらるゝを免れない。分配の一層の公平を得んが爲めには、生産の制限も亦た已むを得ぬといへば其れ迄

であるが、到底見込もなき驕ぎをして徒らに經濟上の發達を妨ぐるのは感心しない。特に夫の排日を以て日本の軍國主義と資本主義とのみに對する反感と解するのは一の大なる誤りであつて、人種的民族的反感が一層重きを成すことを見るに於ては、我邦の現社會組織の改造だけでは之を解く譯に往かない。

## (三)

排日が若十、我邦の社會運動を刺戟した所のあることは右いふ如くであるが、今一つ我が我國民の精神に影響を及ぼした點がある。其は前の社會組織改造と結付くことも出来るし、之と離れて現組織の下に於て行はるゝものたることも出来るが、何かといへば一の退嬰的精神である、即ち斯く外部で排日が盛であるならば、むしろ外部から手を引いて日本の固有の領土に立籠り、其處で新マルサス主義的又はユウゼニツクスの人口制限を行つて、靜かな穩かな美はしく懐かしき同族的生活を營まうかといふ考である。是も實に一の考方ではある。徹底して行つて終へば其でも良いが、其に至るまでの間には容易ならざる苦しみと混雜を生じなければならぬ。加之、我國が獨り斯くなつても外部に横着なる國民があつて之を脅威するならば、到底立行かなくなる。そして斯の如き脅威が決して起らぬといふ保證のない以上は、うかど之を行ふ譯に往かない。特

に排日が盛であるからといふて外部から手を引くのは愚の極である。排日の盛んなのはむしろ偶以て日本の勢力の相當に強い反影である。此方は之を伸ばすべきであつて、引込めるべきではない。

#### (四)

日本が近時東亞に於て排斥を受くるといふのには、日本自身の過去及現在の政策に於て負ふべきものゝあることは勿論であるが、併し米國の煽動に因ることも少くない。或は此煽動に乗る所の東洋人の卑屈なる根性に因ることが少くない。支那人や朝鮮人から見て日本の横暴を好まぬといふことがあり、之を抑える爲めに米國の力を借らうといふ意氣地なき考を出して居るのが即ち彼等の現状である。彼等は彼等が日本を抑えた後に、代るべき米國の横暴を何うすることも出来なくすることに考及ばない。唯目前日本を抑えさへすれば良いと思つて居る。或は米國は日本よりも寛大であらうなど、思つて居るが、布哇の土人に對し、米本土の黒人に對して採る所の態度から見ればさう安心は出来ない。比較的寛大なる取扱を受けて居る所のフィリッピンを見ても常に斯くの如く遇せらるゝものと考へることも早計であり、今日懐柔手段を講じつゝある時代の態度が何時までも續くものと想像するのも大なる愚である。併し今直ちに彼等の迷夢を覺ます

ことは出来ない。暫らく時機を待つより外はない。直接支那と交渉して又は朝鮮人を懐柔して解決しやうといふが、其は駄目である。支那の政治家は人氣ばかり氣にして居り、所謂支那の人氣なるものが米國を當てにして居るから、支那との交渉は駄目、朝鮮人の懐柔といふても事大的なる彼等は今の處正面から往つたとて駄目である。

(五)

其處で先づ以て米國の中心輿論を動かすことが大切である。今日の米國一般に於ける反日の大勢を變化することが必要である。加州の區々たる地方的問題よりも、もつと大事なのは此米國全體の空氣である。之をして日本に對する誤解を解かしめなければならぬ。此方が改まらぬといふと、東亞に於ける諸民族も得たり賢しとして日本に反抗することになり、加州の排日運動者も盛んに勝手の事をする事になる。其れで此米國の大勢を動かさなくてはならぬが、此米國にては日本が第二の獨逸といふ風に解釋し日本を以て特別なる軍國主義の國のやうに思つて居る。併し焉んぞ知らん米國の方がもつと軍國主義的で、もつと大きな世界の脅威であつて、日本は大した軍國主義でもないこと、日本の海軍擴張といつたとて、むしろ米國のより大なる其れに促されて止むを得ず少し許りの擴張を行つたのに過ぎないことを明かにしなければならぬ。又日本がさも

朝鮮に壓制を行つたやうに傳へられては居るが、此とても其秩序を保つに避くべからざる程度のものであり、從來日本の領有以來、鮮民の爲めに少からず福祉増進の施設を行ひ、朝鮮人の朝鮮時代と面目を一新したること、朝鮮人が自立を騒ぐが、彼等の未だ其能力なきこと等につき十分了解を得なければならぬ。若し夫れ山東問題に至つては我に還附の意思あり、而して既に我邦が合法的の手續によりて之を收めたる以上は、最早之を支那が受取らんとするに就いて日本より受取るの外なきものであつて、今更ら支那が日本を出し抜きて受取るべきものでないことについて米國人の了解を得なければならぬ。例の支那に對する共同借款が我國の滿蒙除外の要求の爲めに遲滞して居るが、此も日本が滿蒙を獨占するといふのでなく、我領土勢力範圍に接觸するの故に、我既得確定の地位を脅かすが如きことを爲さざるの保障を得て、むしろ進んで共同借款を成立せしむることゝすべきである。日本は斯の如き事についての固執の爲めに、なき腹を探らるゝの愚を演じてはならぬ。北樺太の占領に至ては私は太だ拙い事をしたものと思ふが、此も決して永久的領有の意思なしといふならば、其事を十分明瞭にすることが必要である。就れにしても日本が從來、米國人に誤解されて居る事は確かである。又我に於て多少は誤解を招く恐ある事をした嫌もある。其れ故に我に於て顧みて改めなければならぬものもあるが、併し又大に辯明しなくてはならぬ所もある、從來此辯明又は宣傳が足らない。外交官も之につき努むる所が足らないが

此は獨り外交官のみに任かすべきではなく、官民擧つて此方に力を用ゐなくてはならぬ。其には澤山に人を使ひ又金をも使はなければならぬ。又此我邦の前途の障害たる大問題の爲めには餘程の犠牲を拂ふの値もあると思はるゝ。

(六)

斯くして日本の從來の誤解を解くことが出来るならば、支那人や朝鮮人も餘り驕いだとて効なきことを覺つて、自然穩かになると思ふ。加州問題は之によりて屏息するとは思はぬが、併し之も全體の米國の輿論が日本に理解を持つことになれば、假令土地法が通過しても、其處に自ら善後策は講せらるゝと思ふ。が併し今日の如く全體の空氣が不良であるといふと、善後策が六つかしくなり、日本の面目は丸潰れとなり、而かも適當なる策はないといふことになる。斯の如き困つたことに立到らしめざるが爲めには速かに夫の宣傳を行はなくてはならぬ。其と同時に加州土地問題其のものも、彼の仕方は人道正義に反し、彼國憲法にも牴觸し、國際正義にも背く所の文明國として恥づべきものであることに就き十分に宣傳を行ふことが必要である。

(七)



加州土地問題については本論叢にて既に説いたことがあるから、今再び繰返やさないが、其の曲の彼に在ることは全く明瞭であつて、良く説明すれば公平なる米人に納得のいかぬ筈はない。人種反感からして何んでも日本人を好まぬといへば其迄であるが、其は正面の理由にはならぬ。そして此が解決の手段として今現に加州に居る日本移民を南米にでも移さうかといふ者もあるとの事であるが、そんな事は丸で出来ない相談である。若干の者は壓迫に堪へずして南米にでも行く決心になるかも知らぬが、大敷の者に之を望むのは六つかしい。さりとて外へ往かぬといふ者を何うすることも出来ない。勿論日本へ戻したとて、日本に彼等を容るゝ餘地は最早乏しい。好景氣の時なればであるが、今時の不況の際には駄目であるし、特に米國の如き餘裕の大な處に住み慣れた者が窮屈な内地へ歸つて住めるものでない。丁度都會へ出て都會生活に慣れたものが農村に歸つて住み悪いのと同じである。彼等の如く永く自由の天地に在つた者が日本に歸つたとて彼等自ら到底堪へられないのみならず、日本自身からいふても社會上好ましいことではない。で多分彼等自らも幾ら虐待されても大敷は歸つては來ないであらう。そして永く米國の特殊部落として彼國の煩累ともならう。米國としても既に彼國に居る者は自國民として取扱ひ、彼等をして忠良なる市民たらしむるのが得策であらうと思はるゝし、又斯かる處置をするのが、正義公道上然るべきことでもある。然し日本としても米國が此上、日本人の多く來るのを厄介と考ふるなら

ば、此點は相當に考慮して、從來往つて居る者は此上壓迫せず、彼等に相當の待遇をして呉れるならば、此上移民を送らないことの堅い約束位はしても良からうと思ふ。人種平等を固執し徹底しやうと思へば、其んな約束は不都合である。又日本自らそんな約束を結ぶのは日本の屈辱であるといふかも知らぬ。日本移民をも歐洲移民と對等條件にて入れしめなければならぬといふかも知れない。成程正義公平からいへばさうであるが、其處は人種の異なる日本人の事であるから幾らか譲つても良い。又暫らく譲るのが穩當であらう。強めて正義を楯にして争ふよりも、相當の面目を立て、適宜解決するのが色々の點から考へて得策である。一體、日本人が米國に行くといふことが日本自らの爲めに有利か何うかを一つ考へなければならぬ。成程彼等が纏つた金を本國に送ることにはなる。併し恰かも此が日本移民に對する非難の的になつて居る。矢張り此非難を緩める爲めには彼等も成るべく先方で儲けた金は先方にて放下することにしなければならぬ。さうすると今後は日本は送金にあまり期待してはならぬことになる。其れから彼等が米國にあるが爲めに日本の物品を需要し、日本の輸出が其れだけ多くなるといふことがあるが、此も日本人の非難の的になつて居る。其處で米國に来ては成るべく米國品を買つたら良からうといふことになるが、さうなれば此點よりしても日本としてあまり利益を得られぬことになる。其他日本移民が彼地に往つた以上は、米國人になつて米國の爲めに十分盡す覺悟でなくてはならぬが、其うなれ

ば最早日本人ではなくなつて日本の祖國に裏切るやうになつても致方がない。米國に於ける日本人排斥を緩和する點からいへば、さういふ風に在米日本人を訓育するより外ない。且つや實際日本人でも永く米國に居ると、米國に慣れて日本を忘れるやうになる。少くとも日本に對する愛着の念が薄くなる。日本から渡つた初代の日本人は未だ幾らか日本といふものに對する愛着を持つが、二代三代となれば段々其が薄らぐ。むしろ全くなくなる。日本人の血を傳へた者が彼處に繁殖して居るのではあるが、日本の勢力が幾分にも彼處に根を張るものとは見ることを得ない。其れ故に日本自らとしては當面若干の經濟上の利益が得られることの外、多くを此移民に期待するを得ぬ。其も前にいふ如く段々減少する傾をもつといふ以上は、強めて新に米國へ移民を入れる途を開くことに努むるには及ばぬ。唯だ既に往つて居る日本人があまり虐待を受けないだけに盡力すれば其れで十分であると思ふ。

(八)

斯くの如くにして日本の移民が米國に往かれぬとなつては、此膨脹已まざる日本の人口を何處に繁殖せしめやうかとの疑問も起るが、其は矢張り故障の少く抵抗の弱い處に求むる外はない。他日は知らず、目下の大勢なり事情なりからしては、強めて米國へ此上の移民を收容せよと追ま

るのは不得策と考へる。濠洲などは米國以上に強烈な排日をするが、此とても今日強めて之を打破つて出掛けて行くのは得策でない。今少しく忍耐して事情の推移を待つべきである。其れで遠い處では南米などの中には、まだ大した故障なく往ける處もあるから其に送るのも良からうし、其も日本の保護を十分に及ぼすことの出来難いのであるから、矢張り日本人は假令金儲が少うても日本の本土に近い處に出掛けて行くより外はない。朝鮮、西比利亞、滿蒙等へドシ〜行くより外ない。此等の地方で日本人を排斥するとか脅迫するとかいふが、其れに恐れを懷いて逃げて歸るやうでは仕方がない。生存の問題である。有らゆる困苦に打勝つて發展すべしである。此等の地方に於て日本人を迫害するものあるに於て、日本の本國の力は相當に之を保護することが出来る。此方面に往く所の日本人は米國に往つたのとは異つて、日本民族たるの觀念を持続することが出来、永く日本の力の一分子たる事が出来る。其が單純なる經濟上の利益を齎らすのみに止まらない。其經濟上の利益は或は大きくないにしても、政治上の利益が優に之を補ふに足る。加之本國との間の物資の交換上にも重大なる利益があり、此方への日本人の發展は大に獎勵して然るべしである。米國へ出て行けなくとも、此方面に出て行けば良い。

處が近時朝鮮人の日本人排斥が辛辣を極むるといふことである。或は之を殺害し、或は非賣同盟を以て脅かすとの事である。此等は嚴重に制裁を加ふべきであり、其他之に對應の處置を講ずべきである。日本が朝鮮人の此種の脅迫によつて旗を卷上げて歸るが如きことは斷じて爲すべきでない。在鮮の官民日本人は此等の迫害に遇ふとも飽迄戦はなければならぬ。日本人の民族の膨脹を自制するといふ退嬰的方針を探らぬ以上は、日本人が此に伸びて行くのは全く自然の勢である。之に對する妨害は有らゆる勇氣を振つて排除しなければならぬ。又日本民族が此地に伸びて行くとも、他方に各種の改良を施して行く以上は、即ち例之、山に殖林を行ひ、溜水地を作つたりして行く以上は、或は又新しい工業をも起して行く以上は、若干の日本人の收容さるゝ餘地位は自ら開けて行く譯であつて、日本人の入込んだゞけ朝鮮人の生活の途を奪ふといふことにはならない。生存競争の結果、一部の鮮人に生活の途を失はすことゝなるといふことがあつても、他方には日本人の起した事業の爲めに、彼等に於てより良き仕事に有り就く者も生ずる。日本人の發展がそんなに彼等鮮人に經濟上の不利は齎らさない。加之、日本人の發展と共に、交通衛生等の施設の改良も次第に行はるゝことになつて、其が鮮人にも福祉を與える。斯くて日本人の朝鮮發展は之を遠慮するに及ばすと思ふが、併し日本人が朝鮮人を虐待することは慎まなければならぬ。此等は相當に時勢の變化を考慮すべきものである。啻に社會上に於てのみならず、政治上に於て

も鮮人の有能者には相當の地位を與ふることを注意すべく、鮮人に參政の機會を擴張することは充分考慮すべきことである。併し我政治の羈絆を脱せんとし又は日本人を迫害せんとする有らゆる陰謀暴舉に對しては嚴罰を以て臨むべきである。

## (十)

偕て又支那に對しては、前にもいふ如く山東問題は支那が國際聯盟へ何度持出して同事、日本の主張通りにならなければならず、結局支那も仕方なしと諦める時機が來ると思ふ。其につき尙ほも日貨排斥などを續けるのは彼としても愚な事を爲すものであるから此も自ら解決さるゝと思ふ。借款問題につき日本が共同借款に加はることは、日本としても若干犠牲を拂ふた所であり支那としても益々國際團の政治干渉を進めて大なる厄介を感ずること、思はるゝが、内外四國の情勢は日本が之に従ふの外なきことゝなつて居る。日本としては第一、米國をして日本が支那に於て我儘をするといふ疑を起さしめざるが爲めに、第二には支那をして日本のみに反感を懷かしめざるが爲めに己むを得ざる所である。日本が此の如き共同に入ることとは今日の場合止むを得ぬ支那が其によつて大に困る、日本の困るよりも多く困まる時機が來ても其は彼の自業自得である。又時勢の進化は何時かは必ずしも斯の如き共同を許さず、むしろ支那や米國が何とかして

之を破らうとすることになるかも知れぬし、又共同列國の凡べてが之を持続するに堪えずして解散しやうといふことになるかも知れない。併し今日は日本も滿蒙特殊利益の解釋などに餘り拘泥せずして、靜かに共同的態度で往くのが得策と思ふ。

(十一)

既に日本が支那に於て右の如きの態度で往き、そして米國に於て盛んに、日本の立場を辯明し宣傳したならば、米國の輿論が日本に向つて攻撃的態度に出で、在米日本人の地位をドン底まで陥れることにはなるまいと思ふが、併し斯くても彼が事を構え、理屈を附けて、國際的専制を行ふ障礙を除くが爲めに我邦及我邦人を壓迫するならば、其時は我日本民族も有らゆる犠牲を拂つて之に對抗しなければならぬ。日本人といふ日本人は全力を擧げて此大難に殉じなければならぬ。日清戦争、日露戦争も何れも日本としては敵國より挑戦せられて止むを得ず戦つたのである。何れも初めより勝算などあつてしたのではない。國家の面目、國民の發展の爲めに讓歩すべからざる最後のものを維持するが爲めには、勝敗を眼中に置かずして奮闘すべきものである。さるにて日本人にて有りながら自ら排日的態度を持するものがある。最後の場合には此の如き者に向て大に反省を乞はなければならぬ。